

もしも ここに 君がいなかったら  
毎日がこんなに 楽しくはなかっただろう  
もしも ここに 君がいなかったら  
明日という日の輝きは 半分になっただろう

二度と戻っては来ない この季節に  
たくさんのプレゼントを携えて  
ほくの前にあらわれた君

競い合い 励まし合った 部活動  
ぶつかって 気まづくなった 文化祭  
すべての日々は 君がくれた ぼくへの贈り物  
君との関係は  
晴れたり 曇ったり ときどき湿ったり

同じように抱えている  
悩みや不安 葛藤があるから  
分かり合えるだけ 反発もするけれど  
大人になってゆく この大切な季節に  
出会えた意味が きつとあるから

ぼくも君に プレゼントを贈ろう  
君の毎日が もっと楽しくなるように  
君の明日が もっと輝くように

いま こうして  
ぼくたちが共有できる  
かけがえのない瞬間を大切にして

青春の時期は、いつの時代でも恥多く悩ましいものだ。 吉行淳之介